

施工技術の現状について

○地上部、地下部に自動物流道路を構築すると想定した場合、現状の施工技術等を整理すると以下のとおり。

【地上部】

(新物流システム(平成12年3月))

- ・施工期間:13年
- ・施工スピード:約3km/月
(489km/156月(13年×12月))
- ・概算工費:254億円/10km

※新物流システム

都市間について、専用走行路(自動車専用道路の中央分離帯などを利用)を自動走行する車両(デュアルモードトラック)を走行させる物流形態(都市内の物流システム(地下空間利用)と大都市郊外で接続)

【地下部】

(各建設会社等アンケート)

- ・施工期間:2.3年~4.8年/10km
- ・掘削スピード:300m~600m/月
- ・掘削可能延長:5km~10km程度
- ・概算工費:70億円~800億円/10km

※検討条件:(想定するトンネル)

- ・建設場所:高速道路の地下40m程度の深さ
- ・内径:6m程度の小口径
- ・トンネル内は最低限の覆工と床版を設置

以降非公開